

大雪災害に対する

町への申し入れ

皆野町議 常山知子

二月十四・十五日にかけての大雪は秩父地方に大災害をもたらしました。

十七日、町長と会い、大雪災害に対して早急に除雪等行なうよう申し入れました。

町長、副町長が対応しました。

常山「今回の大雪の災害に対し、いっこうに進まない除雪に町民はいらだっています。

① 大雪に対する危機管理は？

② 情報が全然入らない、町営バスの運行情報だけでなく、この道路は通れるか町民は知りたがっています。情報の提供をお願いします。

③ 地域によっては、近所の方が協力して除雪をした道路もありますが、それには限界があります。今回のような大雪に対しては、自治体がしっかり対応していただきたい。

④ ケガや家などの被害等は入っていますか。

⑤ 地球温暖化が進み、異常気象でこれからはまたいつこのようになるかわかりません。町の対応をしっかりとやっていただきたい。

その他、救急車の到着が四時間以上かかったことや、買物に町へ出かけられず食糧不足が心配な人がいること等を伝えました。

—町長の答弁—

① について

どの町道はどの業者に頼むということは決まっているが、今回は業者が国道・県道の除雪に入り、町道が後回しになってしまったが、順次やっています。

④ について

今のところ入っていないが、駐車場の屋根の被害は多い。また奈良尾・藤原など日野沢地域で停電になっている。

その他について、しっかり対応していきたいとの町長の答弁でした。

世界の富の半分を1%が占有

イギリスのオックスフォード大学関係者らが創った国際援助団体「オックスファム」からの報告です。

多くの国で、経済格差が急速に拡大している。わずか人口の1%の大富裕層が世界の富の半分を占有している。99%の人々には残りの半分しか分配されていないと報告。

政府は普通の人々を犠牲にして経済エリートの利益に奉仕するものとなっていると警告しています。

この団体が世界6か国で行った世論調査で、過半数が「法律は豊かな人々の利益のためにゆがめられている」と回答しています。

この団体の提案です。

- ・ 儲けをすべて合計する累進課税に
- ・ 自分の富を政治に利用しない
- ・ 労働者に生活資金を払うように

一人の役員が年間何億も、何十億もの報酬を稼ぎだせるのだから。労働者の働き分の横取りが多すぎるでしょ。良質な労働力は使い捨てでは育たない

新米議員のひとりごと

常山 知子

降り続く雪・雪・雪。朝起きてびっくり。2月8日は45cmの積雪、何十年ぶりといわれ、除雪が大変でした。その雪が消えないうちに、14日から15日にかけての大雪は、120年ぶりの積雪で80cm以上。車もすっぽり雪の中に消えていました。あまりの多さにどこから雪を片付けたいのか・・・わかりません。

「救急車を呼んだが4時間たってもまだ来ない、急性盲腸炎でした。やっときた救急車に病院へたどりつき、なかなか来ない医者を待ち、やっと手術ができましたが・・・」

いっこうに進まない除雪に町民はいらだっていました。

県道などにちっとも除雪されない、食糧も少なくなっている、孤立している。助けてというSOSが届く。学校も休校、町営バス、秩父鉄道もストップ。雪に慣れない秩父地方、大災害となりました。

雪国の自治体では、すぐ対処できるよう前もって万全の態勢をとっています。また、いつ大雪になるかわかりません。これからはしっかりした対応を準備しておく必要があります。

大企業の内部留保を賃上げに!

原発ゼロこそ経済に展望ひらく!

生活・法律相談 お気軽にご相談下さい

常山 知子

電話・FAX 62-6733